

平成30年度 士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施状況シート

1. 重点プロジェクト「農業未来都市創造事業」の実施状況

□ …H30年度KPI未達成(見込み)の箇所を太枠線で表示

(1) やさしい農業農村づくり

【事業名: やさしい農業農村づくり事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	H30年度 実施 【Do(推進)】	H31年度 実施 【Do(推進)】
【No.1】 地域資源を活用した学校教育推進事業	総合的な学習の時間を活用し、小学生が農業についての体験や学習を行うことで、農業への理解を深めるとともに、愛郷心の醸成を図る。	○小学校3年生から6年生での児童を対象とした「農業学習」を実施した。 * 農業学習履修時間 45時間	○小学校3年生から6年生での児童を対象とした「農業学習」を実施する。 * 農業学習履修時間 50時間

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】						計	評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			
農業学習履修時間	計画	35	35	40	45	50	205時間	【評価】 農業への理解を深めるとともに、愛郷心の醸成が図られた。	
	実績	35	35	40	45				

【No.2】 農業未来都市構想策定事業	農業後継者や新規参入者が円滑に研修できる体制を整備し、本市農業の振興発展に期するため、本市としてのシステム構築と将来ビジョンを策定する。	○H27年度で事業完了	
【No.3】 農業農村担い手支援事業	担い手の近代的経営感覚を養うとともに、経営規模拡大に向けた支援を行う。	○新規就農者等の農地集積に向け、賃貸料及び制度資金利子を助成予定。 * 助成対象予定 20名 ○新規参入者に対して、農業生産に係る不動産の取得に伴う固定資産税相当額を助成予定。 * 助成対象予定 3名 ○大都市圏で開催された就農相談会等に出展した。 * 新農業人フェア(札幌会場) ○大学、専門学校等を訪問し、就農希望者の誘致活動を行った。 * 江別市、深川市 ○士別市受入農家協議会に、受入地区研修支援助成。 * 受入地区数 1地区	○新規就農者等の農地集積に向け、賃貸料及び制度資金利子を助成予定。 * 賃貸料助成 20件 ○新規参入者に対して、農業生産に係る不動産の取得に伴う固定資産税相当額を助成予定。 * 対象者 3名 ○大都市圏で開催される就農相談会等に出展予定。 * 新農業人フェア ○大学、専門学校等を訪問し、就農希望者の誘致活動を行う予定。 ○士別市受入農家協議会に、受入地区研修支援を助成予定。
【No.4】 しべつ農村塾運営事業 (農作物栽培試験・栽培技術向上推進事業)	地域の農業者や関係者とともに農業のあり方を研修する。	○「農作物栽培試験・栽培技術向上推進事業」へ統合した。 ○学識経験者を新たに1名委嘱し、総合的な助言を受けた。 ○地域の農業者や関係者とともに農産物の収量向上に向けた取り組みを実施予定。 ○つくも4号の普及推進	○士別市農業応援アドバイザーより、総合的な助言を受ける。 ○地域の農業者や関係者とともに農産物の収量向上に向けた取り組みを実施する。 ○つくも4号の普及推進
【No.5】 グリーンパートナー推進事業	農業関係団体が連携し、「農業後継者配偶者対策」を実施する。	○市、農業委員会及び農協が連携し、都市の独身女性との交流の場として当該事業を実施した。 * 年代を分けて、2回開催 ・男性30歳以下の部 8/18~19 ・男性31歳以上の部 9/8~9	○市、農業委員会及び農協が連携し、都市の独身女性との交流の場として当該事業を実施予定。

新規就農者数	計画	11	7	8	9	10	45人	【評価】 新規就農時の初期投資額を助成することで、規模拡大を助長した。 【課題】 ○新規就農者等が少ないことが課題である。 ○経営者をめざす者が減っている。 【改善】 ○就農希望者の募集の強化を図る。
	実績	12	4	3	8			

【No.6】 移住促進事業	大都市圏からの移住者及び体験移住者の増加を図る。特に、農業の新規就農者の移住者の増加をめざす。	○短期移住体験者を受入れた。 * 延 313人(H30年10月末時点) * 上士別C棟はH30年度から老朽化のため利用廃止 ○利用者の二地域居住に繋げることができた。	○短期移住体験者を受入れる。 ○移住政策を総合的な視点で検討する。
------------------	---	--	--------------------------------------

移住体験者数	計画	延 500	延 600	延 700	延 800	延 1,000	延 3,600人	【評価】 ○冬期間の利用を促進することで、利用者の二地域居住に繋げることができた。 【課題】 ○広く情報を提供することや利用促進が課題である。 【改善】 ○定住に向け、冬期間の利用拡大に努める。 ○移住住宅利用に対する利便性の向上を図る。
	実績	延 641	延 699	延 490	延 313			

【事業名：やさしい農業農村づくり事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	H30年度 実施 【Do(推進)】	H31年度 実施 【Do(推進)】
【No.7】 サフォーク種羊振興事業	羊飼養者の定着化と経営の安定を図るため、飼養管理及び種雄導入の支援を行う。	○羊の飼養管理費や羊肉の流通促進等に対する助成をした。 * 飼養者数 5戸 ○成雌導入に対する助成。 ○士別産サフォークのGI登録に向けた協議及び高価格での試験販売を実施した。 ○羊皮の販売ルートの確保によって、収益向上に努めた。 ○地域おこし協力隊による飼養管理技術の研修や各種講習会への参加、畑作物や野菜の試験栽培などにより、羊飼養者の育成に努めた。 * 隊員数 4名	○羊の飼養管理費や羊肉の流通促進等に対する助成を予定。 ○種雄導入に対する助成を予定。 ○スクレイピー抵抗性の向上対策を予定。 ○士別産サフォークのGI制度の取得及び羊肉の高価格販売をめざす取り組みを予定。 ○地域おこし協力隊による各種研修を予定。
【No.8】 農業体験受入事業	修学旅行や企業等の研修のための農業体験者を受入れる。	○学校や企業等の研修のための農業体験者を受入れた。 * 延298人 トヨタ工業学園 262人 愛媛農業大学校 36人	○学校や企業等の研修のための農業体験者を受入れる。
【No.9】 6次産業ネットワーク推進事業	本市の優れた農畜産物等を活用し、生産加工・流通を活性化するための体制づくりを行う。	○士別市産の農畜産物を活用し、6次産業化を行う農業者、農業団体を支援した。 * 事案件数 2件 ○6次産業化の推進に向けて、関係事業者による意見交換会を開催予定。	○士別市産の農畜産物を活用し、6次産業化を行う農業者、農業団体を支援予定。 * 事案件数 2件(予定) ○6次産業化の推進に向けて、関係事業者による意見交換会を開催予定。

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】					計	評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
羊新規飼養者戸数	計画	1	1	2	1	1	6戸	【評価】 ○地域おこし協力隊において、今後の飼養者増加につながる飼養管理等の研修が着実に進んでいる。 【課題】 ○効果的な就農支援体制の構築が課題である。 【改善】 ○「地域おこし協力隊」の制度活用した担い手確保をめざす。 ○収益性を高める畜産・畑作等との複合経営プランの構築やGI制度の取得、高価格販売をめざす取り組み、飼育可能な空き家の検討等により、将来を描ける就農プランの提案を行い、飼養者の増加をめざす。
	実績	1	0	0	0			
羊飼養頭数(繁殖雌)	計画	550	600	700	750	800	800頭	【評価】 ○種雄導入に対する助成など、生産者に対する各種支援を進めるなかで、市内生産者における飼養頭数の拡大につながった。 【課題】 ○優良な後継羊の生産が課題である。 【改善】 ○種雄めん羊の導入等により優良な繁殖雌羊を生産するとともに、飼養者の増加による飼養頭数の拡大をめざす。 ○近親交配の防止のため、サフォーク羊の海外からの導入について検討する。 ○スクレイピー抵抗性の向上対策により、より優良な後継羊の生産をめざす。
	実績	551	552	581	614			
農業体験者数	計画	延200	延300	延300	延400	延500	延1,700人	【評価】 トヨタ工業学園と愛媛農業大学校を対象に農業体験を受入れ、士別市の農業をPRできた。 【課題】 新たな学校や企業等の受入。 【改善】 トヨタ工業学園と愛媛農業大学校を対象に農業体験を引き続き行い、新規受入先の確保を図る。
	実績	延356	延378	延309	延298			
6次産業化支援数	計画	1	1	1	2	2	7件	【評価】 取り組み支援を行うことで、農業者等の負担軽減が図られた。 【達成】 商品パッケージの作成支援及び商品開発機器購入支援ができた。
	実績	1	2	2	2			
新規販路開拓件数	計画	1	1	1	2	2	7件	【評価】 市外物産店に参加し、新規販路開拓の取り組みにより、農畜産物加工(株)商品をPRすることができた。 【課題】 新規販路の確保。 【改善】 市外物産店に参加し、特産物等を広くPRする。
	実績	1	1	1	0			

(2)おいしい農業農村づくり

【事業名：おいしい農業農村づくり事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	H30年度 実施 【Do(推進)】	H31年度 実施 【Do(推進)】
【No.10】 ふるさと給食事業	地元の優れた農産物等を活用し、小中学校の給食において食することで農業への理解を深める。	○士別市産の農畜産物を活用した給食を提供した。 *実施回数 8回	○士別市産の農畜産物を活用した給食を提供する。 *実施回数 8回(予定)

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】					計	評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
ふるさと給食実施回数	計画	7	7	8	8	8	38回	【評価】 子ども達が地域の食材の魅力を知ることによって「食」の大切さを学び、地域への愛郷心を醸成することができた。 【達成】 地元生産者やJAの方々との協力を図りながら、多くの地元の食材を使用した豊かな献立を提供することで、子ども達が生産者や流通などの「食」に関わる方々や「食への恵み」に対し感謝をしながら、「食」への関心を深め、「食」への大切さを学ぶことができた。
	実績	7	7	8	8			

【No.11】 6次産業ネットワーク推進事業 *再掲 No.9	6次産業取組者と農畜産物等の直売者のつながりを強めるとともに、商品PRの強化等を図る。	【No.9】参照	【No.9】参照
---------------------------------------	---	----------	----------

【No.9】参照

(3)がんばる農業農村づくり

【事業名：がんばる農業農村づくり事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	H30年度 実施 【Do(推進)】	H31年度 実施 【Do(推進)】
【No.12】 ICT農業推進事業	作業の効率化、安定化を図り、経営規模の拡大をめざし、ICT化を推進するための研修等を実施する。	○ICT農業に関する研修会を実施した。 *参加者(予定) 延 200名 ○ICT営農支援システム実証実験を実施した。 (地方創生推進交付金)	○ICT農業に関する研修会を実施する。 *参加者(予定) 延 200名 ○ICT営農支援システム実証実験を実施する。 (地方創生推進交付金)

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】					計	評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
ICT農業研修者数	計画	延 100	延 100	延 150	延 200	延 200	延 750人	【評価】 ICT農業の理解を深め、ICT技術導入の促進が図られた。 【達成】 ICT活用農業に関する視察研修の実施、国や道などが主催する様々なICTに関する研修会に参加した。
	実績	延 136	延 125	延 176	延 200			
GPS移動局導入件数	計画	4	—	—	—	—	—	
	実績	4	10	11	96			

【No.13】 安全・安心農業ふれあい事業	地場農産物の消費拡大を図り、地産地消を推進するためイベントを開催する。	○「産業フェア」等の開催を支援した。 産業フェア(8/26(日)11,000人 復活！朝日町商店街(9/16(日)3,500人)	○[士別ビートまつり]、「産業フェア」などの開催を支援予定。 士別ビートまつり(7月上旬開催予定) 産業フェア(8月下旬開催予定) 復活！朝日町商店街(9月中旬開催予定)
--------------------------	-------------------------------------	--	--

イベント参加者数	計画	延 17,700	延 16,000	延 19,000	延 17,000	延 21,000	延 90,700人	【評価】 地場産物の消費拡大、地産地消の推進が図られた。 【課題】 天候等の要因により集客が少なかった。 【改善】 イベント内容等を工夫し、達成をめざす。
	実績	延 18,200	延 19,100	延 21,500	延 14,500			

【No.14】 農業研修施設整備事業	新規就農に向けた研修及び農業体験が可能な施設の整備を行う。	○JA等の関係機関と連携し、今後の研修施設のあり方等について検討を進めた。	○JA等の関係機関と連携し、今後の研修施設のあり方等について検討を進める。
-----------------------	-------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------

新規就農者数【再掲】	計画	11	7	8	9	10	45人	【事業No.2～5のKPIに記載】
	実績	12	4	3	8			
農業体験者数【再掲】	計画	200	300	300	400	500	1,700人	【事業No.8のKPIに記載】
	実績	356	378	309	298			

2. 重点プロジェクト「合宿の聖地創造事業」の実施状況

(1) やさしい合宿地づくり

【事業名：合宿の里士別ステップアッププラン事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	H30年度 実施 【Do(推進)】	H31年度 実施 【Do(推進)】
【No.1】 合宿招致活動事業(海外)	一層の合宿者の増加を図るため、また2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、海外からの合宿の招致活動を展開する。	○韓国女子マラソンナショナルチーム合宿受入(5/30~7/8) ○香港陸連合宿受入(5/22~7/2・9/7~9/19) ○中国ジャンプナショナルチーム(7/10~21)など	○台湾ナショナルチーム合宿の受入れを実現するための招致活動を行う。
【No.2】 外国語研修事業	海外からの合宿者のおもてなしに資するため外国語研修を実施する。	中国語学習を検討中。	○引き続き外国の言語や文化を学ぶ機会を提供する。
【No.3】 合宿招致イベント開催事業	合宿の里士別を内外に発信し、合宿者増加を図るため、PRイベントを開催する。	○国内各種大会へ出向き招致活動を展開し、合宿招致に向けPRを実施した。	○合宿の里士別を内外に発信するため、効果的なPRを実施する。
【No.4】 外国語対応招致パンフ作成事業	合宿者の増加を図るため、国内外に向けてのPRパンフレットを作成する。	○H29年度で事業完了 ただし、掲載内容の変更や不足が生じたときは遅滞なく対応する。	○H29年度で事業完了 ただし、掲載内容の変更や不足が生じたときは遅滞なく対応する。
【No.5】 外国語併記案内看板製作事業	本市で合宿する海外選手にもやさしい案内看板を設置する。	○H28年度で事業完了	○H28年度で事業完了
【No.6】 合宿の聖地構想策定事業	より充実した環境で合宿できるよう、「合宿の聖地」をめざす将来ビジョンを策定する。	○見直し後の「合宿の里士別ステップアッププラン」に基づく事業を実施。	○見直し後の「合宿の里士別ステップアッププラン」に基づきながら事業を展開する。

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】						評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
合宿者数 ※()海外合宿者数	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【評価】 この間の招致活動や人のつながりから、海外合宿チームの受入れを増やすことができた。 【達成】 ・《上期》合宿実績→延17,563人 ・《下期》合宿実績→昨年同数の見込み(H29:延7,192人)
	実績	延 20,961 (8)	延 21,886 (36)	延 23,090 (858)	延 24,700 (963)			
新規招致チーム数 ※()海外チーム数	計画	2	2	3	4	5	延16 チーム	【評価】 ディスタンス参加チームの増加などにより新規チーム数を増やすことができた。 【達成】 (陸上)21団体 (スキージャンプ)2団体 (スピードスケート)1団体
	実績	4 (1)	9 (1)	20 (7)	24 (6)			
海外チーム招致数	計画	1	1	2	2	2	延8 チーム	【評価】 この間の招致活動や人のつながりから、海外合宿チームの受入れを増やすことができた。 【達成】 (陸上)5団体 (スキージャンプ)1団体 (サッカー)1団体
	実績	1	1	9	7			
ナショナルチーム招致数 ※()海外チーム数	計画	3	3	3	3	3	延15 チーム	【評価】 この間の招致活動や人のつながりから、海外合宿チームの受入れを増やすことができた。 【達成】 (陸上)1団体 (ウエイトリフティング)1団体 (スピードスケート)1団体 (スキージャンプ)3団体
	実績	4 (0)	3 (0)	2 (1)	6 (2)			

【事業名：スポーツ合宿推進事業】

【No.7】 合宿招致活動事業(国内)	一層の合宿者の増加を図るため国内の大学、実業団、中央競技団体へ招致活動を展開する。	○全日本スピードスケートナショナルチーム合宿受入(8/19~8/29) ○中央関係団体、各種大会開催地で合宿招致活動を行った。	○合宿招致効果の高いスポーツ大会やチームの拠点訪問での招致活動を展開する。 ○海外チーム及びパラリンピック競技団体に対してさらなる招致活動を展開する。
【No.8】 合宿受入れ事業	合宿選手受入れにあたっての送迎をはじめ、市民との交流を促進する。	○これまでの取り組みを継続し、空港等への送迎や宿泊先の調整などを行った。	○空港間の送迎体制の徹底や宿泊先の調整などきめ細かな対応を実施する。
【No.9】 合宿の里推進協議会補助金	官民一体となった合宿推進を行う体制を整備する。	○協議会で掲げる事業を推進し、市民協働の合宿の聖地づくりを進めた。	○協議会加盟団体の主体的な取り組みを促進し、地元企業等との連携を深め、市民協働の合宿の聖地づくりをめざす。
【No.10】 ランニング教室開催事業	合宿中の選手によるランニング教室やオリンピックデーランのスポーツ教室などを通じ、市民の競技力の向上を図る。	○スポーツ能力向上事業を体育授業で実施し、トップアスリートによる指導を受けた。	○トップアスリートによる陸上教室をはじめ、各種スポーツ教室の開催、さらには、能力向上事業も引き続き実施し、スポーツへの関心を高めジュニア世代の育成・拡大などに向けた取り組みを推進する。

合宿者数(再掲) ※()海外合宿者数	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【事業No.1~6のKPIに記載】
	実績	延 20,961 (8)	延 21,886 (36)	延 23,090 (858)	延 24,700 (963)			
新規招致チーム数(再掲) ※()海外チーム数	計画	2	2	3	4	5	16 チーム	【事業No.1~6のKPIに記載】
	実績	4 (1)	9 (1)	20 (7)	24 (6)			
スポーツ教室参加者数	計画	250	300	350	400	500	延 1,800人	【評価】 「能力向上事業(新規)」に取り組むことにより、子どもたちの走力向上につなげることができた。 【達成】 ・スポーツ教室:スキー/フリースタイル ・スポーツ教室:トランポリン ・陸上教室 ・ファイターズサマーキャンプ ・ファイターズフォールキャンプ ・スポーツ能力向上事業
	実績	181	344	502	481			

(2)おいしい合宿地づくり

【事業名:合宿の里士別ステップアッププラン事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	H30年度 実施 【Do(推進)】	H31年度 実施 【Do(推進)】
【No.11】 合宿選手対応メニュー開発事業	合宿選手向けに地元農産物等を活用した士別ならではのメニューを開発する。	○アスリート食事メニュー開発や「合宿メニュー講習会」を開催し、各宿泊施設での活用の促進を図った。また、ふるさと給食とアスリート食事メニューと合わせた給食を提供し、合宿のまちな魅力を発信した。	○地元食材を活用したアスリート食事メニューの開発を継続し、合宿チームへの提供のみならず、さらなる市民への還元をめざす。

重要業績評価指標(KPI)の推移

【Check(確認)】								評価・課題及び改善 【Action(改善)】
KPI項目	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
新規メニュー開発品目	計画	2	2	3	3	5	15品目	【評価】 開発メニューを参考に合宿や学校給食での提供を行ったほか、HPでレシピを広く周知するなど、合宿の里の魅力向上につながった。 【未達成】 今年4月に士別旅館業組合と共催で実施した「合宿メニュー開発試食会」において2品目が開発されたが、今年度のKPI達成には至っていない。ただし、5か年の目標値である15品目は既に達成しており、今後も合宿受入施設と連携を密にし、合宿選手や市民への提供に努める。
	実績	8	4	10	2			

(3)がんばる合宿地づくり

【事業名:合宿の里士別ステップアッププラン事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	H30年度 実施 【Do(推進)】	H31年度 実施 【Do(推進)】
【No.12】 低酸素室整備事業(朝日地区)	競技力の向上をめざし、各種機器や器具、設備等を整備することで、合宿地としての魅力向上を図る。	○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.13】 林道クロカンコース整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.14】 陸上競技運営システム整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.15】 運動施設整備機器更新事業		○3000M障害器具を更新した。	○写真判定器の更新、レスリングマットの整備
【No.16】 ウェイトリフティング器具整備更新事業		○H28年度で事業完了	○H28年度で事業完了

重要業績評価指標(KPI)の推移

【Check(確認)】								評価・課題及び改善 【Action(改善)】
KPI項目	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
合宿者数(再掲) ※()海外合宿者数	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【事業No.1～6のKPIに記載】
	実績	延 20,961 (8)	延 21,886 (36)	延 23,090 (858)	延 24,700 (963)			
新規招致チーム数(再掲) ※()海外チーム数	計画	2	2	3	4	5	16チーム	【事業No.1～6のKPIに記載】
	実績	4 (1)	9 (1)	20 (7)	24 (6)			

【事業名:合宿の里士別ステップアッププラン事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	H30年度 実施 【Do(推進)】	H31年度 実施 【Do(推進)】
【No.17】 スポーツイベント開催事業	合宿の聖地としてのイベントの進化を図り、参加者にとって意義あるものとする。	○各種イベントの開催 デスタンスチャレンジ士別大会(196人) ハーフマラソン大会(1,860人) オリンピックデーラン士別大会(2,208人) 全日本サマージャンプ朝日大会(71人) 全日本サマーコンバインド朝日大会(111人) 全日本ジュニア&レディースサマージャンプ朝日大会(98人) 2018合宿の里士別ジュニアサマージャンプ交流大会(54人) 朝日ノルディックスキー大会(エントリー見込み400人)	○各種イベントの開催 デスタンスチャレンジ士別大会 ハーフマラソン大会 オリンピックデーラン士別大会 全日本サマージャンプ朝日大会 全日本サマーコンバインド朝日大会 全日本ジュニア&レディースサマージャンプ朝日大会 2019合宿の里士別サマージャンプ交流大会 朝日ノルディックスキー大会

重要業績評価指標(KPI)の推移

【Check(確認)】								評価・課題及び改善 【Action(改善)】
KPI項目	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
イベント参加者数	計画	延 4,000	延 4,500	延 5,000	延 5,500	延 6,000	延 25,000人	【評価】 地元産トマトジュースの提供など特色ある大会づくりに努め本市の魅力を感じてもらうことができた。 【未達成】 「デスタンスチャレンジ士別大会」「オリンピックデーラン」「ハーフマラソン」などの参加者数は増加したものの、今年度のKPI達成には至っていない。 ただし、過去3か年において、最も多い参加者数になると見込んでいる。今後は大会等の告知を早めるなど改善を図りながら、魅力ある大会やイベントづくりを進める。
	実績	延 4,369	延 4,900	延 4,393	延 4,998			

【No.18】 トレーニングセンター整備事業	あらゆるスポーツの基礎となるウェイトトレーニングやランニングが可能な施設を整備する。	○H28年度で事業完了	○H28年度で事業完了
---------------------------	--	-------------	-------------

合宿者数(再掲) ※()海外合宿者数	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【事業No.1～6のKPIに記載】
	実績	延 20,961 (8)	延 21,886 (36)	延 23,090 (858)	延 24,700 (963)			
新規招致チーム数(再掲) ※()海外チーム数	計画	2	2	3	4	5	16チーム	【事業No.1～6のKPIに記載】
	実績	4 (1)	9 (1)	20 (7)	24 (6)			

【事業名：合宿の里士別ステップアッププラン事業】

小事業名	事業概要 【Plan(計画)】	H30年度 実施 【Do(推進)】	H31年度 実施 【Do(推進)】
【No.19】 無線LAN構築事業	合宿者のための宿泊環境を整備し 利便性を向上する。	○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.20】 洋室照明整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.21】 井水装置整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.22】 循環ポンプ整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
【No.23】 大浴場改修事業等		○H28年度で事業完了	○H28年度で事業完了

重要業績評価指標(KPI)の推移

KPI項目	区分	【Check(確認)】						計	評価・課題及び改善 【Action(改善)】
		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度			
合宿者数 (再掲) ※()海外合宿者 数	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【事業No.1～6のKPIに記載】	
	実績	延 20,961 (8)	延 21,886 (36)	延 23,090 (858)	延 24,700 (963)				
新規招致 チーム数 (再掲) ※()海外 チーム 数	計画	2	2	3	4	5	16 チーム	【事業No.1～6のKPIに記載】	
	実績	4 (1)	9 (1)	20 (7)	24 (6)				

【No.24】 宿泊室バリアフ リー化事業	障がい者スポーツの振興と2020東京 オリンピック・パラリンピックを見据 え、宿泊室のバリアフリー化を図る。	○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了
-----------------------------	--	-------------	-------------

障がい者 スポーツ の 合宿者数	計画	延 12	延 12	延 20	延 20	延 30	延 94人	【評価】 「オリパラ交流研修事業(ガチパラ!)」の開 催により市民応援の機運が高められた。 【達成】 「オリパラ交流研修事業(ガチパラ!)」の実 施。
	実績	0	延 39	0	延 26			

【事業名：朝日地域交流センター整備事業】

【No.25】 施設修繕事業	合宿者のための宿泊環境を整備し 利便性を向上する。	○H28年度で事業完了	○H28年度で事業完了
【No.26】 エアコン・カーテン 整備事業		○H27年度で事業完了	○H27年度で事業完了

重要業績評価指標(KPI)の推移

合宿者数 (再掲) ※()海外合宿者 数	計画	延 21,000	延 22,000	延 23,000	延 24,000	延 25,000	延 115,000人	【事業No.1～6のKPIに記載】
	実績	延 20,961 (8)	延 21,886 (36)	延 23,090 (858)	延 24,700 (963)			